
が300を超えていたので、自分でビックリして、なんかわからん文章書いてみた。（小説やな

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

作品数が300を超えていたので、自分でビックリして、なんかわからん文章書いてみた。（小説やないで）

【Nコード】

N7305R

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

投稿数が300を超えてたから、書いてみた。小説やないで。しかも、またもや関西弁。読みにくかったら、すんません。まとまりのない、ただの戯れ言。

（前書き）

今回は作品数が300を超えていた事に関する眩きみたいな、意味不明な文章です。

なんか気が付いたら、自分で書いた作品の数が300超えとった。まあ、中には作品って呼ばれへんようなモノも沢山あるけど、読み返してみたら『こんな事思ってたんやなあ』って思う文章がようさんあった。

詩を読んだら、その時の精神状態がよう分かる。

落ち込んだったり、喜んだり、死にたい位沈んだり、いろいろしてる。

作品の中には、さっきも言ったけど、作品で言われへんようなモノも書いてたわ。

感想関連の激闘もあったな。

あん時は、あれが必死やった。とりあえず自分にも感想欲しいねんけど、作品読んで感想書くやる。んで、他の人どんな感想書いてはんねやる？　って思って感想欄覗いたら、自分以外誰も感想書いてへん。そんな事が多々あってん。それであれや。自分以外にも感想欲しい人沢山おんねんで！　って何度も訴えた。この『小説家になるう』の中をもっと盛り上げて、感想書いて、感想書かれて、お互い一期一会で切磋琢磨して、自分のどこが悪いんかとか、どうやったら感想貰える作品書けんのかって事、教えて教えたってえな。って思ってたな。

結局『クレクレ君』なんて言われて、受け入れてなんやわからんまま終わったけど、それでもあの時は、あれで必死やってん。

愚痴もようさん書いたな。あれも沢山言われたわ。活動報告に書けとか、ブログに書けとか、ここは小説を投稿するところやからこんなん書くなとかな。

でも、それもええ思い出や。

連載小説も書いた。あんましウケはよくないみたいやったけど、それでも読んでくれてる人はいる。それだけが、喜びやった。

気が付いたら、お気に入りユーザーに登録してくれてる人達も増えてな。

初めのうちは、自分の文章力とか表現力とかを高めたくて、どの作品がよかったのかとか聞いたものや。

でも、よう考えたらお気に入りユーザーに登録してくれた人達にそんな事聞くのって失礼やろ？ だから途中から止めてん。

この『小説家になろう』に初めて投稿してから、まだ一年も経たへん。それなのに、もう300以上の投稿をしてる。自分でもビツクリやわ。

最近では【リレー小説】ってのもやったな。まだ完結はしてへんけど、執筆してくれはる著者様もエントリーしてくれはって本当に感謝してる。今は、そんな事やってる場合とちゃうと思ってるから一時中断してるけど、またいつか始めたいと思ってる。『そして人はいなくなっちゃいました』が完結したら、また新しい【リレー小説】もしようかなあ。とも考えてたりするねんけどな。

それと『Smile Japan』って企画にも、今参加中やな。でも笑顔を提供って言われても、ギャグセンス無いし、ほのぼのとした笑みをだす作品も書かれへん。詩で和やかになつて貰おうと思つても、こんな時に詩が浮かんでけえへん。ボケとツツコミ中心で変な家族を設定してコメディイ書いてるけど、これもまたネタ切れをおこしてる。困った話やで。

イメージで和んで貰おうと、花言葉調べて、それにあつた物語考えようとしたけど、結局思い付かんと、花の紹介文みたいになつてるし……。

あかなあ。震災直後は、どないかせな！ っと思ってるいろいろ叫んだんやけどな。そこで、励ましの声を貰ったり、非難の声を浴びせられたりしたけど、それもまた、ええ経験やつたと思う。

初めは、物書きのイロハもわからなかったけど、今では何となしにわかつた気になつて、掌編や詩を中心に執筆してる。

今回は愚痴でもなんでもない。ただ300超えしてて、過去の自

分の作品をちらつと読んで、アクセス見たら、まだ読んで貰えてる。って感じて呟いてみようと思っただけ。

たいした文章力もなく、たいした表現力もなく、ただただ自分の思うがままに執筆してきた。そして、これからもそんな感じで執筆していくと思う。

こんな事こそ、活動報告やブログに書けよって言われるかもしれないけど、敢えてここに載せてんねん。

んでな、この前盗作がどうのこうの、ってカキコを携帯から見れるPCサイトで見つけてん。悲しくなったわ。そんなに人の上げ足取りたいかねえ？ 小説書いてる人の殆どが、読書家や。という事は、頭にいろんな作家さんの表現方法とかが、蓄積されててもおかしいやん。だから、本人が意識してなくても、盗作紛いのモノが発生しても仕方ないと思うんやけどなあ……。

それに、盗作盗作言い出したら、極論（あくまでも極論やで）言語自体が盗作（それこそ、言い掛かりか？）やんか！ 言語は独力で創作したモノやないから、オリジナル言語を作らん限り、言語の盗作になってまう。著者様はみんな、どうしたら話が面白くなるかとか、展開をどうするかとか、迷って作品投稿するんやろ？ 盗作盗作騒ぐのって場違いちゃうかなあと思う。（一から十まで、まんまパクリやったら話は別やけど）

誰かがオリジナル言語作って執筆しても、他の読者は著者様のオリジナル言語なんて読まれへん。あまり悲しい事、言わんところや。盗作うんぬん言う奴は、小説専用のオリジナル言語作ったらええねん。出来るものやったら、やってみろって言うねん！ 自分は書かへんくせに、いちやもん付ける奴、最低や。

著者様は、著者様なりに考えて執筆してんねん。上げ足取るの止めようや。

読者様が納得して読めたら、それでいいやんか。自分の考え間違ってる？ あまり悲しい記事は読みたくないな。

何はともあれ、著者様の執筆意欲には脱帽や。これからも頑張っ

てください。

盗作や言われて、凹む必要無いと思うで。あまりひつこいようやったら、オリジナル言語考えろ！ っていつてやれ！ 言語その物が、盗作の一部（これは言い過ぎか？）やねんから。

著者の皆様、クレームなん気にせず、執筆頑張ってください。

最後になりましたが、お気に入りユーザーに登録してくれてる著者の皆様、お気に入りユーザーには登録してないけど、作品を読んでもださっているユーザーの皆様、『小説家になろう』に登録せずに、作品を読んでくださっている皆様、こんな私ですが、これからもよろしくお願い申し上げます。

これからも、多分くだらない文章を書いていきますが、暇な時にもちらっと覗いてみて貰えたらありがたいです。

『なんや、ほんまにまとまりの無い文章になってもうたなあ……。ごめんなさい。こんなん書いとったら、自分ってやっぱり小説家にはむいてへんよなあって思うわ……。』（物書きとも違うみたいやし）』

（後書き）

新たな物語を執筆する著者の皆様、アイデアの浮かばない私は、あなた方を凄い方々だと尊敬致します。

これからも、頑張ってください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7305r/>

作品数が300を超えていたので、自分でビックリして、なんかわからん文章

2011年3月19日10時25分発行